

袋井、磐田の4商工団体と協定

静岡理工科大 産業発展に向け連携



袋井市豊沢の静岡理工科大は21日、袋井商工会議所、磐田商工会議所、浅羽町商工会、磐田市商工会の4団体と連携協定を結んだ。

地元の商工団体との協力関係を密にし、地域産業の発展を図る狙い。同日で締結式を行い、野口博学長と豊田富士雄袋井商議所会頭、高木昭三磐田商議所会頭、柴田猛浅羽町商工会長、野寄宏之磐田市商工会長が協定書に調印した。

協定書は連携事項として「大学の『知』を生かした産業・観光振

興、国際交流」「学生参加型の地域づくり」など5項目を挙げている。野口学長は「これまで個別に各団体と連携を図ってきたが、横断的につなげる時。約1400人の学生が、地元産業に理解を深めるための活動をしていきたい」と語った。

4商工団体の会頭、会長はそろって協定締

結を歓迎した。豊田会頭は「(学生には)海外からの視野を獲得して意欲を示した。」と述べ、国際交流の事業化に向け